

第21回 MerQuriusコンファレンス 2023 Q&A

No	ご質問事項	回答
1	アレルギー品目「カシューナッツ」「松の実」に関する今後の動向について教えてください。	<p>・2023年6月に行政にて開催されました「第5回 食物アレルギー表示に関するアドバイザー会議」において、「カシューナッツ」の特定原材料(義務)の格上げについて検討されていることをキャッチしております。公定検査法の開発状況及び令和6年度全国実態調査(2024年)の結果を踏まえて、2025年以降に食品表示基準改正に向けた手続きが示されておりますので、MerQurius製品・サービスとしても改正の動きに合わせて対応を検討しております。</p> <p>・「松の実」については、同会での候補に挙がっておらず、現時点で動向を確認しておりません。</p>
2	CODEX対応について、今後の対応を教えてください。	<p>・MerQurius製品・サービスは原則として、国内の法令を基にして対応を計画しています。</p> <p>・行政にて2023年度の消費者基本計画に示された食品表示のグローバル化対応などで、CODEXにより則した形での法令化が検討されている状況を確認しておりますが、現時点で具体的な計画は公表されておりません。引き続き法令化の動向を注視して、MerQurius製品・サービスへの対応も進めてまいります。</p>
3	海外輸出品が増えてきていますが、海外法規への対応を教えてください。	<p>・現時点では、MerQurius製品としての海外法規への対応予定はありません。</p> <p>・MerQurius Netサービスにおいては輸出品などで使用原料として必要とされる場合がある「水素添加油脂」の項目の存在を認めています。「水素添加油脂」については、現時点では、MerQurius Netサービス規格書の「規格(共)」の規格欄への記載の運用としていただいております。</p> <p>・その他情報取得においては、国内の法令を基にして対応を計画する原則ではありますが、多くのサービス利用者様の規格書授受の利用価値につながるものであれば、運用状況を確認しながら計画化を進めてまいります。</p>
4	容器包材ポジティブリスト制度について対応予定はありますか。また、MerQurius Netでも対応しますか。	<p>・Quebelでは、最新の法規データダウンロードによって容器包材ポジティブリストに基づく法規チェックが行われます。(※自動判定ではございません。)</p> <p>・MerQurius Netは、原料規格書の「基本1」[共]において別添書類「ポジティブリスト見解書」を添付する運用で対応しております。</p>
5	法規改正について今後の動向を教えてください。	<p>・「第5回 食物アレルギー表示に関するアドバイザー会議」において、「カシューナッツ」の義務格上げ、「マカダミアナッツ」の推奨追加、「まつたけ」の削除の議論を確認しております。</p> <p>・グローバル化の対応議論として「水の表示が必須になる」、「添加物の一括名表示が不可になる」等の話題が挙がっていますが、取組としては「有識者から成る懇談会において順次議論していく」とされており、動向としては未定です。引き続き「食品表示懇談会」等の動向を注視してまいります。</p> <p>・その他、今後の法改正は食品表示部会等で動向を確認中です。現在までに、前述以外の新しい情報はございません。</p>